



↑講演をする新田さん

自 6/12 身の経験を

介護フォーラム

町民会館さくらホールで介護フォーラム「介護は突然やってくる、その日のために」を開催しました。元おニャン子クラブのメンバーでタレントの新田恵利さんを講師に迎え、ご自身の介護体験や家族に介護が必要になった時の備えについてお話をいただきました。また、介護をしたお母さんとの思い出を交えた新田さんのお話に会場は引き込まれ、笑顔と涙に包まれていました。

楽 6/16 しみに待ってたよ！

深溝保育園 プール開き

深溝保育園でプール開きが行われました。準備体操をした後に、シャワーで汚れを落として足先から少しずつ水温に慣らしていき、入水しました。ビート板を使って泳いだり、水をかけあったりして遊びました。園児たちは「水冷たい！」「いっぱい泳いだよ」と言いながらプール遊びを満喫していました。



↑バタ足をする園児たち



↑ご自分のアイボを連れてきて遊ぶ様子

ア 6/20 イボ (aibo) に会いに来てね

役場食堂がアイボ仕様に

役場1階の食堂内にアイボと触れ合えるスペースができました。アイボは幸田町のみで製造されている犬型ロボットで、ふるさと納税の返礼品となっています。人工芝が敷かれたスペースはアイボ専用のドッグランとなっていて、ご自分のアイボを連れてきて遊ぶことができ、町のアイボに会うこともできます。また食堂内のハミングバードカフェではアイボにちなんだメニューが販売されていますので、ぜひお立ち寄りください。また今後、アイボに会えるカフェとして、ソニーマーケティング株式会社と一緒にイベントなどを実施していく予定です。



↑アイボをイメージしたハミングバードカフェのメニュー(写真はティラミスとカフェラテ)



↑みんなでダンス♪

楽

6/23

しみながら

菱池保育園 英語あそび

菱池保育園で父母の会主催の英語あそびが行われました。歌いながら体の部位を表現したり、カードを使って「red」「blue」「green」「yellow」などの色を表す英語を練習したりしました。その後、英語の曲が流れるとリズムに合わせて元気いっぱいダンスをしました。またサメが出てくる絵本の読み聞かせでは、ハラハラドキドキする展開に、子どもたちは真剣に聞き入っていました。

奥

6/25

三河の町村が大集合

三河町村広域交流事業

三河町村広域交流協定（設楽町、東栄町、豊根村、幸田町）における事業の一環として道の駅「筆柿の里・幸田」で、交流イベントを実施しました。今回のイベントでは、設楽町が観光PRブース、東栄町が東栄チキンの販売、豊根村は味つけ^{はいけい}廃鶏*や地元の農産物の販売、幸田町は夢やまびこ豚を使ったコロケやサムギョプサルの販売を行いました。訪れた人からは「奥三河の素敵な観光スポットを知ることができた。ぜひ行ってみたい」という声が聞かれました。

*廃鶏…採卵期間を終えた雌鶏



↑豊根村の販売ブースで商品を選ぶ人たち

丹

6/28

精込めて

夏秋なす部会鉢植え品評会



↑受賞した内藤さん

JAあいち三河幸田営農センターで、幸田町夏秋なす部会鉢植え品評会が行われました。幸田町夏秋なす部会の20人が出品し、最優秀賞にあたる幸田町園芸振興会長賞を岡崎市の内藤成一郎さんが受賞しました。内藤さんは「鉢植えなすの栽培を始めて10年になるが、今回が初めての受賞でとてもうれしい。来年も受賞できるように頑張りたい」と話してくれました。鉢植えなすは、管理の難しさからほかの地域にはない珍しい栽培方法です。